

全体DP：「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決する知識、技術、態度を有する高い素養を身につける

<p>専門職学位課程 DP：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、専門的かつ指導的役割を果たすことができる 2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる 3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の実践、方策と政策に還元できる 4. 社会健康医学に関わる各専門の知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる 	<p>GCコース DP:</p> <p>先端医療に対応できる高度な専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、患者・家族の立場を理解して遺伝医療におけるインターフェースとなる能力を身につける</p>	<p>CBコース DP:</p> <p>臨床研究の科学的な質を保つために必要な統計学基礎・臨床統計学の知識、臨床統計家に求められる技術、臨床研究の倫理的な質を保つために必要な知識・態度を身につける</p>	<p>知財プログラム DP:</p> <p>生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する問題解決能力、実践・実務能力、及び、高度な専門性を身につける</p>
---	--	--	---

課題研究 (MCRコース・GCコース・CBコース・知財プログラムを含む、専門職学位課程全学生必修)						
社会健康医学におけるコア5領域の科目群 (エビデンスの活用科目群を除く)						
専門職学位課程 1~2年次 (MCRコース、1年制MPHコースは1年次)	応用	疫学	医療統計	環境・感染症	政策・マネジメント	行動科学・倫理
	中級	臨床試験(MCR・CB) 質的研究・演習 QOL・PRO評価法	観察研究の統計的方法 解析計画実習 交絡調整の方法 医療統計学実習	ベンチトレーニングコース 環境・感染症論 環境曝露・リスク評価	行政医学・産業医学 医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査 地域保健活動論 健康危機管理・災害医療マネジメントワークショップ レジリエントな社会づくり：展望と自由提言 医薬品の開発と評価	医療倫理学各論(GC) 健康デザイン論 公衆衛生の緊急事態におけるリスクコミュニケーション 健康・予防医療学領域の実装科学 医療社会学・基礎
	基礎	臨床試験(MCR・CB) 質的研究入門 NLP介入研究の進め方 人間生態学	統計遺伝学 I・II	毒性科学 感染症数理モデル入門		
	MCRコース 他の科目も履修可能	社会疫学研究方法 (MCR限定) 臨床研究計画法 I・II / 演習 I・II (MCR限定) 臨床研究特論 (MCR限定) EBM・診療ガイドライン特論 (MCR限定)	臨床研究マネジメント (MCR限定・CB限定) データ解析法特論 (MCR限定)		医療技術の経済評価 (MCR限定)	
コア(選択)必修	コア領域1 疫学 I (疫学入門) (コア必修) 疫学 II (研究デザイン) (コア必修)	コア領域2 医療統計学 (コア必修)	コア領域3 感染症疫学 産業・環境衛生学	コア領域4 医療制度・政策・経済 社会健康医学と健康政策 医薬政策・行政 (GC) 保健・医療の経済評価 健康危機管理の制度政策と実践	コア領域5 行動科学 基礎医療倫理学(GC) 医学コミュニケーション基礎 社会疫学	ゲノム科学と医療
						文獻検索法(GC) グローバルヘルズ通論
						左記のコア5領域について、専門職学位課程のうち基幹課程(2年制MPHコース)及び1年制MPHコースは合計10単位以上、MCRコース、GCコース、知財プログラムは、コア必修およびコア3~5の各領域から1単位以上合計7単位を修得することを修了の要件とする。その他必修科目は、各コース、プログラムによる。
						特別コース・プログラムの点線の枠内の科目で、科目名の後に(●●限定)という指定がない科目は専門職学位課程全学生が対象(履修可能)。 特別コース・プログラムの点線の枠外の科目で、科目名の後に(MCR)や(GC)等特別コース名を示す括弧がある科目は、当該特別コースの必修科目。 MCR: 臨床研究者養成コース GC: 遺伝カウンセリングコース CB: 臨床統計家育成コース 知財: 知的財産経営学プログラム <凡例> 座学 実習・演習

医学研究科 社会健康医学系専攻 博士後期課程 コースツリー

作成日：2024年2月19日

全体DP:

「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な学術課題を考究する素養を身につける

博士後期課程DP:

1. 社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、**高度に**専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について**高度な**知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の**高度な**実践方策と**高度な**政策に還元できる
4. 社会健康医学に関わる各専門の**高度な**知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

【3年次】博士論文

博士課程セミナー

社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）

各自の到達目標に合わせ本専攻専門職学位課程の各科目を履修することができる

以下の各科目について、本専攻専門職学位課程からの進学者は履修する必要はない

社会健康医学におけるコア5領域の科目群

コア（選択）必修	疫学 コア領域1	医療統計 コア領域2	環境・感染症 コア領域3	政策・マネジメント コア領域4	行動科学・倫理 コア領域5	左記のコア5領域について、コア必修およびコア3～5の各領域から1単位以上合計7単位を修得することを修了の要件とする。	医学基礎領域 （医療系学部等 以外出身者） 医学基礎 I 医学基礎 II 臨床医学概論
	疫学 I（疫学入門） （コア必修）	医療統計学 （コア必修）	感染症疫学	医療制度・政策・経済 社会健康医学と健康政策 医療政策・行政(GC) 保健・医療の経済評価 健康危機管理の 制度政策と実践	行動科学 基礎医療倫理学 医学コミュニケーション基礎 社会疫学		
	疫学 II（研究デザイン） （コア必修）		産業・環境衛生学				